

## ～ 栄町商店街 アートストリート推進事業 ～

名古屋市にゆかりの深い3人のノーベル賞受賞者の手形碑をモニュメントとして通り沿いに設置。受賞者本人と地元の小学生を招待して除幕式を行った。商店街の新たな取り組みとしてマスコミにも取り上げられ、その後も多くの見学者が訪れ、新たな話題作りとなっている。

所在地：愛知県名古屋市中区錦3-23-1

TEL：052-962-7143 FAX：052-955-0560

URL：<http://www.sakaemachi-shotengai.com/>

組合員数：67名

商店街の類型：超広域型商店街

## 商店街の概要と事業を実施した背景

栄町商店街は名古屋市で一番の繁華街であり、オフィスビルのほか百貨店や有名ブランド店が多数軒を並べ、買い物の場としてだけでなく、文化や流行の発信地としても重要な役割を担っている。しかし近年は、少子高齢化や名古屋駅前の開発の影響を受けてお客様の流れも変わりつつあり、かつてのような「歩いて街を楽しむ」という風情がなくなりつつある。そこで組合では、街区を若手アーティストの発表の場として活用、通りに彫刻を飾るほかショーウィンドーを利用して子供絵画展を行うなどアートストリート事業に力を入れてきた。今回のノーベル賞受賞者の手形碑の設置もこの一環として実施した。

## 実施した事業の概要

### ①手形碑イベント事業

日本が誇るノーベル賞受賞者で名古屋市にゆかりの深い、野依、益川、小林の3博士の手形碑を、商店街の新たな名所とするべく、栄交差点から広小路交差点の歩道沿いに設置した。除幕式には、名古屋出身であり名古屋大学で学ばれた益川博士と小林博士を迎え、地元の小学生20人も招待して盛大に開催。子供たちは受賞者と一緒に写真に納まり、郷土の偉人にあやかろうと手形碑に自分の手を合わせ、大いに盛り上がった。また、これに合わせて、商店街の今昔を紹介した「手形ストリートマップ」を作成、地域の人々や観光客等の“街歩き”の推進を図った。

### ②広ぶら芸ぶらイベント事業

大正から昭和にかけて、広小路通りを散策することを銀ブラになぞらえて「広ブラ」と称していた。こうした風情を復活させようと、平成25年11月23日、24日の2日間、「広ぶら芸ぶら文化祭」を開催した。栄広場の会場には、子供たちに人気の「巨大ふわふわツリー」を設置。「親子ファミリーアンサンブル」と題して、ピアノを始めとしたコンサートを行うなど、親子で楽しめるイベントとした。

また開催期間中は、沿道にある各店舗のショーウィンドーやイベント会場などに、市内の小学生から募った「小学生児童絵画コンクール」の入賞作品を展示。多くの家族連れが訪れ、通りがにぎわった。



## 成果と成功の要因



近年、名古屋市にゆかりのある学者が次々とノーベル賞を受賞している。商店街でもこうした快挙を街の活性化に結びつけていきたいと考え、「手形モニュメント」を作成して新たな名所づくりを考えた。受賞者から手形を頂くことは通常困難だが、大学にコーディネートを依頼。“街を盛り上げたい”という商店街の願いを快く受け入れて頂き、実現に漕ぎ着けた。手形碑の除幕式等がマスコミでも話題となり、作成した「手形ストリートマップ」の効果も重なって多くの方が見学に訪れてくれるようになった。少子高齢化や名古屋駅前の開発の影響もあり、通行量等当初の数値目標の達成には苦労しているが、空き店舗については徐々に減少効果が現れつつある。

## 今後の取り組み

本事業をきっかけに、街を訪れる家族連れが増えたと感じている。今後は、ノーベル賞受賞者の手形を徐々に増やし、青少年に夢と希望を与えていきたいと考えている。また、「いつ行っても催事や楽しめる要素が街のあちらこちらにある」といえる商店街を目指して、地域のコミュニティ団体と行政、商店街の三位一体で盛り上げていく予定。特に、空き店舗を活用したアート作品の展示や、アートに触れられるイベントなど、親子で楽しんでもらえる催しに力を入れたい。